

第292号 2011年10月14日
弘前大学総務部総務課

学術講演会・研究発表会・公開講座

弘前大学大学院保健学研究科 緊急被ばく医療検討委員会
緊急被ばく医療人材育成プロジェクトの紹介のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科では、第11回弘前大学総合文化祭「知の創造」におきまして、保健学研究科が平成20年度から取り組んでいる「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」の活動、「放射線に関する基礎知識と緊急被ばく医療体制の重要性」、さらに「福島原子力災害において本学職員の看護活動」について、地域住民の皆様にお知らせし、地域社会での理解と普及に努めたいと考えております。

本プロジェクトの活動は、今月22日（土）の「市民公開講座」も含めまして、29のポスター展示によって、写真や図表を利用して平易に解説されています。関心をお持ちの方は、この機会に是非、会場までお越し下さい。

1. 日 時：2011年10月21日（金）～10月23日（日）
（初日は13：00に開始、最終日は15：00に終了）
2. 場 所：弘前大学・総合教育棟1階「共用会議室」
3. 対 象：地域住民、医療関係者、一般、大学生、中・高校生
4. ポスター演題（発表者）：
 - （1）ポスター展示にあたって（企画部門・市民公開講座）
 - （2）プロジェクトの概要と現状（對馬 均研究科長）
 - （3）放射線って何だろう（細田正洋）「市民公開講座」で講演
 - （4）放射線の健康への影響～正しい知識を持ちましょう～（西澤一治）「市民公開講座」で講演
 - （5）原子力災害における看護活動（野戸結花）「市民公開講座」で講演
 - （6）青森県内の救急病院における緊急被ばく医療に関する意識調査（小山内隆生）
 - （7）弘前大学における被ばく医療人材プロジェクトの概要と地域連携（野坂大喜）
 - （8）弘前大学における緊急被ばく医療教育の概要（中村敏也）
 - （9）緊急被ばく医療の学部教育について（若山佐一）
 - （10）緊急被ばく医療の大学院教育について（一戸とも子）
 - （11）看護師・診療放射線技師を対象とした緊急被ばく医療研修の実際（井瀧千恵子）
 - （12）緊急被ばく医療人材育成プロジェクト教員国内研修報告（木立るり子）

- (13) 緊急被ばく医療人材育成プロジェクト研修報告会報告 (石川 孝)
- (14) 茨城県国民保護共同実動訓練を参観して (寺島真悟)
- (15) UCSF研修報告—米国におけるがん放射線治療と看護— (會津桂子)
- (16) 放射線看護研究会 (西沢義子)
- (17) 緊急被ばく医療研修を受講した看護師の放射線リスク認知 (井瀧千恵子)
- (18) 原子力施設30Km圏内にある在宅サービス事業所スタッフにおける原子力災害に関する認識 (木立るり子)
- (19) JCO事故の経験を活かした保健活動 (北宮千秋)
- (20) 災害時における避難高齢住民をめぐる“生活不活発病” (廃用症候群) とその対応 (成田大一)
- (21) 放射線治療を受ける患者の日常生活上の問題点とQOLについて (西沢義子)
- (22) 原子力災害の発生に伴う放射線イメージの変化 (野戸結花)
- (23) 学部教育の評価・効果について (若山佐一)
- (24) 放射線曝露個体の治療に関する基礎的検討 (石川純也)
- (25) なぜ放射線被ばくに造血幹細胞移植が必要なのか? (伊藤巧一)
- (26) 被ばくマウス内臓、ことに腸管の形態変化について (千葉正司)
- (27) 放射線被ばくによるリンパ球系細胞の遺伝子発現変化の解析 (千葉 満)
- (28) 毛から抽出したタンパク質を用いた被ばく線量の評価に関する研究 (七島直樹)
- (29) ヒト骨髄系造血の分化・増殖に与える電離放射線の影響 (門前 暁)

問い合わせ先: 弘前大学大学院保健学研究科 千葉 正司
 電話: 0172-39-5954
 E-mail: sh-chiba@cc.hirosaki-u.ac.jp

シンポジウム「市民・裁判員の視点から見た裁判員裁判」開催のお知らせ

施行から3年目を迎えた裁判員制度を、講演、青森県の裁判員裁判に関する現状報告、裁判員経験者の講話や座談会を通じて、市民・裁判員の視点から検証します。

1. 日 時: 2011年10月23日(日)
13:00~17:00
2. 会 場: 弘前大学人文学部校舎4階多目的ホール
(文京町キャンパス内)にて
3. 内 容:

13:00~14:00 講演 守屋克彦
(弁護士・元裁判官) 「裁判員裁判の課題と展望」



14:15～14:45 報告 宮崎秀一、平野潔、飯考行（弘前大学）「青森県の裁判員裁判の概要と、弘前大学における裁判員研究・教育の取り組み」

14:45～15:15 講話 田口真義（裁判員経験者）「裁判員の経験と交流」

15:30～17:00

座談会「市民・裁判員の視点から見た裁判員裁判」
パネリスト：青森県内の裁判員経験者、田口真義、
守屋克彦、小林敏彦（青森地方検察庁弘前支部長）、
猪原健（青森県弁護士会）、大沢幸治（東奥日報社）



4. 対象：学生・市民一般 ※入場無料、事前申込不要

5. 主催：弘前大学人文学部、教育学部（平成23～25年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「市民・裁判員の視点から見た裁判員裁判の検証」、平成23年度弘前大学教育支援経費「裁判員教育から創る！学士力と社会貢献能力ー21世紀教育での実践と展開」）

※前日の10月22日（土）13:00～15:00には、関連企画として、学生サークルteens & law主催の模擬裁判員裁判が、総合教育棟201号室にて実施されます。あわせお運び下さい。

問い合わせ先： 弘前大学人文学部
住所：〒036-8560 弘前市文京町1番地 弘前大学人文学部裁判法研究室
電話・FAX：0172-39-3958
E-mail：iit@cc.hirosaki-u.ac.jp

農学生命科学部公開講座「農業廃棄物から宝物を探す」のお知らせ

捨てるリンゴ種子に何があるのか、実験データをまじえて紹介します。小さな研究から遭遇した体験談です。

また、地球温暖化・エネルギーの問題対策として、青森県で発生する農業残渣から作った炭の持つ可能性を紹介します。

1. 日時：2011年10月23日（日） 13:30～15:30

2. 場所：弘前大学農学生命科学部3階 302講義室

3. 演題：「捨てるリンゴ種子に何がある？」
農学生命科学部 教授 片方 陽太郎

「農業残渣の古くて新しい活用」
農学生命科学部 准教授 園木 和典

4. 対象者：一般市民（事前申込不要）

5. 連絡先：農学生命科学部地域連携推進室 総務グループ
（研究協力担当）

6. 受講料：無 料

7. 受付：当日（302講義室前にて行います。）

※「あおり県民カレッジ」の単位認定講座です。



問い合わせ先： 弘前大学農学生命科学部地域連携推進室
総務グループ（研究協力担当）鈴木
TEL：0172-39-3758
FAX：0172-39-3757
E-mail：renkei@cc.hirosaki-u.ac.jp

第4回弘前大学国際シンポジウムのお知らせ

このたび、白神自然環境研究所主催で、第4回弘前大学国際シンポジウム「白神山地から新しい自然・生物資源利用を考える」を開催致します。

今回は、中国：延辺大学とロシア：極東国立農業大学及び北海道大学から著名な研究者を招聘し、従来からの生物資源利用の方法に加えて、エコツーリズム・グリーンツーリズムに関する情報も紹介していただきます。多数の方々のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年10月25日（火）
9：30～17：30

2. 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール

3. プログラム：

9：30～10：00 開会挨拶・来賓祝辞

10：00～10：30 研究所紹介

10：30～11：50 講演第Ⅰ部「白神山地の環境特性」
石川 幸男 白神自然環境研究所 教授
中村 剛之 白神自然環境研究所 准教授
石田 祐宜 理工学研究科 助教
山岸 洋貴 白神自然環境研究所 助教

11：50～13：00 昼休み（Lunch break）

13：00～15：05 講演第Ⅱ部「長白山周辺地域の生物とその利用」
尹 炳柱 延辺大学理学院 教授
尹 成日 延辺大学理学院 教授
陳 艶秋 延辺大学農学院 教授
呂 龍石 延辺大学農学院 教授
柳 明洙 延辺大学国際交流合作処 教授

15：05～15：15 休憩（Break）

15：15～16：15 講演第Ⅲ部「ロシアと日本での自然利用の新たな視点」
ユーリ・ネミロスティフ 極東国立農業大学 准教授
敷田 麻実 北海道大学観光学高等研究センター 教授

16：15～16：25 休憩（Break）

16：25～17：15 パネルディスカッション
「極東アジアの豊かな自然を活用し、未来に残していくには」



司 会：石川 幸男 白神自然環境研究所 教授
 パネリスト：陳 艶秋 延辺大学農学院 教授
 敷田 麻実 北海道大学観光学高等研究センター 教授
 佐々木 長市 白神自然環境研究所長
 牧田 肇 弘前大学名誉教授（白神マタギ舎）
 吉川 隆 熊の湯温泉旅館経営（赤石マタギ）

17:25～17:30 閉会挨拶

※詳細につきましては、白神自然環境研究所HP <http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/> をご活用下さい。

問い合わせ先： 弘前大学学術情報部共同教育研究課
 電 話：0172-39-3915
 E-mail：jm3915@cc.hirosaki-u.ac.jp

知の拠点形成プロモーション事業 『日経ユニバーシティコンソーシアム』
 [地域活性化を担う人材育成～世界自然遺産白神山地の自然のもとで育つ人・産業]のお知らせ

1. 日 時：2011年10月26日（水） 13:30～17:00
2. 会 場：日経ホール 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日経本社ビル内
3. 主 催：弘前大学、弘前市、日本経済新聞社
4. 協 賛：弘前商工会議所、弘前観光コンベンション協会、弘前市物産協会、青森銀行、みちのく銀行
5. 内 容：

13:30 開演（開場：13:00）

13:30～13:40 主催者挨拶
 弘前大学長 遠藤 正彦

13:40～14:20 基調講演1
 「津軽・弘前の魅力と人づくり」
 弘前市長 葛西 憲之

14:20～15:00 基調講演2
 「世界自然遺産白神の謎をとく」
 白神自然環境研究所長 佐々木 長市

15:00～15:20 休憩

15:20～17:00 パネルディスカッション
 「豊かな自然がはぐくむ地域産業と人材育成」

○パネリスト：弘前大学長 遠藤 正彦
 弘前市長 葛西 憲之
 涌井 雅之（造園家、東京都市大学教授）
 見並 陽一（東日本旅客鉄道㈱ 常務取締役）



○コーディネーター：福島 敦子（キャスター・エッセイスト）

6. 募集人数：600名（参加料無料）

7. 申込み先：<http://adnet.nikkei.co.jp/>

※10/17〆切（インターネットによる申込みとなります）

問い合わせ先：「ユニバーシティ・コンソーシアム弘前大学」事務局
電 話：03-5510-4168
（10：00～18：00 土・日・祝日を除く）

平成23年度 弘前大学保健学研究科
大学院教育・学部教育FD講演会のお知らせ

弘前大学保健学研究科のFD委員会では、平成23年度の大学院教育・学部教育講演会を下記の日程で企画しましたのでご案内いたします。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年10月27日（木） 17：40～19：00

2. 場 所：弘前大学保健学研究科 第24講義室（新棟6階）

3. 演 者：弘前学院大学 Edward Forsythe 氏

4. 演 題：Publications and Presentations in English

問い合わせ先：弘前大学保健学研究科 FD委員会 大友 良光
電 話：0172-39-5970
E-mail：yotomo@cc.hirosaki-u.ac.jp

バイオ知的財産セミナーのお知らせ

このたび、知的財産本部では、本学が連携している日本海地域大学イノベーション技術移転機能（KUTLO-NITT）スペシャリスト浜野正一郎氏を講師として、ライフサイエンス系研究者を対象に、下記のとおりバイオ知的財産セミナーを開催します。

多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年10月31日（月） 18：00～20：00

2. 会 場：大学院医学研究科 基礎棟1階・産学共同研修室

3. 内 容：大学の知的財産の「生みの親」となる研究者の方々にご参加いただき、「より技術移転に有利＝強い」知的財産を目指すために、技術移転の最前線にいるKUTLO-NITTスペシャリストがトレンドを含んだ情報を紹介します。

◆KUTLO-NITTのご紹介

◆医薬品産業の概要 ～市場、期間、研究費について

◆KUTLO-NITTの売り込み・結果分析から得られた知的財産に対するニーズ

◆知的財産の強化対策 ～大学へ知的財産に関するご提案

4. 講師：日本海地域大学イノベーション技術移転機能（KUTLO-NITT）
スペシャリスト 浜野 正一郎 氏
5. 主催：日本海地域大学イノベーション技術移転機能（KUTLO-NITT）
国立大学法人弘前大学
6. 対象：本学の教職員、学生
7. 参加費：無料

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、10月26日（水）までに、下記問い合わせ先までお申し込みください。

問い合わせ先： 弘前大学知的財産本部
電 話：0172-39-3178
FAX：0172-36-2105
E-mail：chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp

分析化学と化学分析の青森フォーラム2011のお知らせ

青森県内の会員及び分析化学・化学分析に従事する研究者・技術者の交流を深め、情報交換を行うことを目的としています。これまで、日本分析化学会の行事に参加する機会が少なかった会員も是非ご参加下さい。

1. 日 時：2011年11月1日（火） 15：00～
2. 会 場：弘前大学大学院理工学研究科大会議室
3. 講 演：
 - （1）青森県における食品衛生検査（青森県環境保健センター） 増田幸保
 - （2）新規製法で調製したシクロデキストリンポリマーとその分析材料としての性能
（（地独）青森県産業技術センター工業総合研究所） 菊地 徹
 - （3）糖鎖構造解析＜そんなに甘くなかった糖の分析＞（弘前大学農学生命科学部） 児島 薫
4. 参加費：無 料
5. 懇親会：17：45より市内で行いますので参加ご希望の方は御連絡下さい。
6. 主 催：（社）日本分析化学会東北支部

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 糠塚いそし
電 話・FAX：0172-39-3573
E-mail：nkt@cc.hirosaki-u.ac.jp

第13回「家庭でできる看護ケア教室」開催のお知らせ

一般市民の方々を対象に看護の専門領域で活躍するナースが、講師として実際に即した方法をお伝え致します。

1. 日 時 :

1回目 2011年11月10日(木) 13:00~15:30
「NO(脳)！エイジング～今から始める生活習慣病予防のヒケツ～」
「相談コーナー」

講 師：糖尿病看護認定看護師 櫻庭 咲子

2回目 2011年11月22日(火) 13:00~15:30
「健康の入口 口腔ケア」

講 師：歯科口腔外科外来 副看護師長 石田 芳子
「知っておきたい排泄の基礎知識～失禁の原因と対策～」
講 師：皮膚・排泄ケア看護認定看護師 古川 真佐子

※両日共に受付は、12:30から致します。

※1回目、2回目のいずれかの参加でも可能です。

2. 場 所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
(駐車場はございません) 弘前市本町40-1

3. テーマ：「はじめよう！ 身につけよう！ 健康管理」

4. 参加費：無 料

5. 主 催：弘前大学医学部附属病院 看護部

※この事業は、社団法人青森医学振興会の助成金で運営されております。

5. 募集人数：市民の方 30名(先着順)

6. 申し込み受付期間：2011年10月17日(月)～10月31日(月)
土・日曜日・祭日を除く 9:00～17:00

※下記問い合わせ先まで、お申し込みください。

FAXの場合は、参加希望日・氏名・年齢・電話番号を明記して下さい。

問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院 地域連携室 担当：福士 明美
電 話：0172-39-5337
FAX：0172-39-3977



「新しいフッ素系高分子界面活性剤の開発に関する講演」のお知らせ

1. 日 時：2011年11月22日(火) 15:30～17:00

2. 場 所：弘前大学理工学研究科1号館2階大会議室

3. 講 師 : Georgi Kostov 教授

Department of Organic Chemical Technologies,
Faculty of Technical Sciences,
Prof. Dr. Asen Zlatarov University,
Bulgaria

4. 講演内容 : テロメル化反応を巧みに利用した新しいタイプのフッ素系高分子界面活性剤の合成とその機能発現に関する研究に関して、講師の方の研究成果を中心に講演していただきます。

問い合わせ先 : 弘前大学理工学研究科 澤田 英夫
電 話 : 0 1 7 2 - 3 9 - 3 5 7 8
E-mail : hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp

第 5 回 弘大病院がん診療市民公開講座のお知らせ

1. 日 時 : 2011年11月23日(水・祝)
13:00~15:30
2. 会 場 : 弘前大学医学部コミュニケーションセンター
2階大会議室
3. 内 容 :

弘前大学医学部附属病院の専門医による最新の放射線治療と、がん経験者による体験談を患者・家族それぞれの立場から、市民の皆様にはわかりやすく講演いたします。
講演後に質疑応答の時間を設けております。



4. プログラム :
 - 演題1 「最新の放射線治療」(60分程度)
講 師 弘前大学医学部附属病院放射線科教授 高井 良尋
 - 演題2 「最愛の妻を亡くして」(30分程度)
講 師 乳がん患者会ほほえみネットワーク副会長 今 薫
 - 演題3 「乳がんを経験して」(30分程度)
講 師 乳がん患者会ほほえみネットワーク会長 赤石 敏子
 - 質疑応答(20分程度)
5. 対 象 : 一般市民(事前の申込みは不要です。)
6. 入場料 : 無 料(病院駐車場をご利用ください。受付にて無料券を配布いたします。)
7. 主 催 : 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター
8. 共 催 : 北東北がんプロフェッショナル養成プラン

問い合わせ先 : 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター がん診療相談支援室
電 話 : 0 1 7 2 - 3 9 - 5 1 7 4

「国際リンゴ・フォーラム in 弘前」開催のお知らせ（再掲）

「国際リンゴフォーラム in 弘前」は、海外リンゴ産業の新動向を把握するとともに、日本のリンゴ産業の技術的・品質的・社会的な優位性・特異性を世界に向けてアピールし、海外リンゴ産業関係者との人的交流を促進することによって、青森県リンゴ産業のグローバル化への対応策を検討することを目的に開催致します。そこで、本邦および米・中・豪各国から栽培技術、流通、貿易、機能性の各分野の専門家を招いての講演・シンポジウムを実施致します。同時に国内外のリンゴ産業関係者に広く参加を呼びかけ、懇親会・エクスカージョンも催し、グローバルな人的交流の契機とします。

あわせて、今般の東日本大震災と、それに伴う福島原子力発電所事故による我が国農産物の風評被害が深刻化する中、青森県産りんごもその影響を受けることは必至の情勢となっております。とりわけ、海外の福島原子力発電所事故に対する関心は強く、我が国農産物の輸出情勢は極めて厳しい状況におかれています。そこで、本フォーラムでは、日本産りんごの安全性に係わる正しい情報を国内外に対して発信致します。

1. 日 時：2011年10月15日（土）～17日（月）

2. プログラム：

10月15日（土） 本シンポジウム

(1) 開会挨拶 9：00～9：10

(2) 祝 辞 9：10～9：20

(3) 報 告

第1報告 『日本のりんご育種の現状』

今 智之 （青森県産業技術センターりんご研究所） 9：20～10：00

第2報告 『日本のりんご市場・流通の現状』

平山 吉孝 （東京青果株式会社） 10：05～10：45

第3報告 『日本のりんご機能性研究の現状』

田中 敬一 （食品産業技術総合研究機構果樹研究所） 10：50～11：30

----- 昼 食 11：30～13：00 -----

第4報告 『世界のりんご事情』

Desmond O'Rourke （Belrose, Inc.・米国） 13：00～13：40

第5報告 『ピンク・レディーシステムの構築過程』

Jon Durham （Apple & Pear Australia Ltd.・豪州） 13：45～14：25

第6報告 『中国りんご生産流通事情』

苑 鵬 （中国社会科学院） 14：30～15：10

第7報告 『福島原子力発電所事故による汚染の現状と青森県産りんごの安全性』

15：15～15：45

(4) 総合討論（パネリスト：弘前市長および報告者） 15：45～17：30

(5) 閉 会 17：30

(6) 懇親会 18:00～

10月16日(日) ミニシンポジウム

「日本の総合農協と東アジアの農業協同組合—果樹産地における役割—」
座長：大島 一二(桃山学院大学) 他

(1) 解題「中国合作社の現状と課題」 張 曉山(中国社会科学院)

(2) 「中国合作社の事例報告」 曹 斌(中国社会科学院)

(3) 「日本の総合農協の位置づけ」 白石 正彦(東京農業大学名誉教授)

(4) 「日本の総合農協の経営実態」 小林 光浩(青森県農協中央会)

(5) 「農民技術指導と果樹振興」 長谷川 啓哉(東北農業研究センター)

(6) 「果樹農協のマーケティング」 成田 拓未(弘前大学特別研究員)

(7) 「総合農協における信用事業の意義」 大橋 治(岩手大学大学院連合農学研究科研究員)

(8) 「韓国の農協組織の現況」 金 成学(山形大学)

10月16日(日) りんご展示会：弘前市・JETRO共催(予定)

10月17日(月) エクスカーション

視察内容：生産、流通・販売、加工、技術(試験場)、りんご公園、農協(予定)

3. 会場：2011年10月15日(土)

本シンポジウム：弘前大学創立50周年記念会館・みちのくホール(定員300名)

懇親会：弘前大学生協スクーラム

2011年10月16日(日)

ミニシンポジウム：弘前大学創立50周年記念会館・岩木ホール(定員100名)

りんご展示会：弘前パークホテル

4. 参集範囲：りんご関連団体及び一般(会場収容人数を限度とする)

5. 主催：弘前大学、弘前大学農学生命科学部附属りんご振興研究センター

6. 実行委員会：「国際リンゴ・フォーラム in 弘前」実行委員会

実行委員長 荒川 修(弘前大学農学生命科学部教授)

事務局長 石塚 哉史(弘前大学農学生命科学部准教授)

事務局 成田 拓未(弘前大学特別研究員)

E-mail：ringoforum2011@gmail.com(成田)

弘前大学総合文化祭「知の創造」のお知らせ（再掲）

『学んでみよう放射線』をテーマに市民公開講座を開催いたします。放射線の専門家が、放射線についての知識や、放射線による健康への影響についてわかりやすくお伝えします。さらには、福島原子力災害において本学の教員が実際に行ってきた看護活動についてもお伝えしたいと思います。

多数のご参加をお待ちしております。申込は不要ですので、参加を希望される方は当日直接会場にお越しください。

1. 日 時：2011年10月21日（金）
17：30～19：30
2. 会 場：弘前市立観光館1階多目的ホール
3. テーマ：『学んでみよう放射線』
4. 内 容：

講演1 「放射線って何だろう」
細田 正洋 先生（弘前大学大学院保健学研究科助教）

講演2 「放射線の健康への影響～正しい知識を持ちましょう～」
西澤 一治 先生（弘前大学大学院保健学研究科教授）

講演3 「原子力災害における看護活動」
野戸 結花 先生（弘前大学大学院保健学研究科准教授）

5. 入場料：無 料
6. 主 催：保健学研究科研究発表会
7. 共 催：緊急被ばく医療人材育成プロジェクト企画部門、生体応答科学研究センター

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科総務グループ
電 話：0172-39-5905



第36回弘前大学経済学会大会のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2011年10月22日（土） 14：00～17：40
2. 会 場：弘前大学人文学部視聴覚ルーム（人文学部校4F）

※参加登録の必要はありません。参加費は無料です。

3. プログラム：

(1) 開会挨拶 鈴木 和雄 会長（弘前大学人文学部教授） 14：00～14：05

(2) 講 演

講 師 川端 望 氏（東北大学大学院経済学研究科教授） 14：10～15：40
演 題 「携帯ショップの奥は中国：大連ソフトウェア
・情報サービス産業と日本」

(3) 研究発表

発表者 金目 哲郎 氏 (弘前大学人文学部講師) 15:50~16:40
発表題目 「地方交付税の一般理論と実際 ―現代日本の経済政策体系の変化のなかで―」

(4) 研究発表

発表者 内藤 周子 氏 (弘前大学人文学部講師) 16:50~17:40
発表題目 「会計基準のコンバージェンス―日本基準とIFRS―」

(5) 懇親会 18:10~20:10

弘前大学文京キャンパス周辺のお店を会場として、会費5,000円程度を予定しています。
参加される方は、学会開催の2~3日前までに事務局・柴田までご連絡下さい。

問い合わせ先: 弘前大学経済学会事務局 柴田 英樹
電 話・FAX: 0172-39-3298
E-mail: cibat@cc.hirosaki-u.ac.jp

第11回教育実践研究のための講演会のご案内 (再掲)

当センターでは教育実践研究についての講演会を開催しております。

第11回目のとなりました今回は、教育学部保健体育講座 高橋 俊哉 先生にご講演をお願いいたしました。学内の先生方はもちろん、地域の先生方、院生や学生等の多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時: 2011年10月22日 (土) 13:00~14:00
2. 場 所: 弘前大学教育学部附属教育実践総合センター3階マイクロティーチング室
3. 講 師: 弘前大学教育学部保健体育講座 高橋 俊哉 先生
4. タイトル: 「子供の健康の現状と課題」

事前のお申し込みは不要です。また、どなたでも参加できますので、ご関心をお持ちの方にお知らせください。

※教育学部校舎改修中のため、教育学部側から当センターへ入ることができません。お越しの際は当センター玄関よりお入り下さい。

問い合わせ先: 弘前大学教育学部附属教育実践総合センター 事務室 (吉崎)
電 話・FAX: 0172-39-3488

**看護職者の教育力開発支援センター
・現職者支援部門主催の「患者指導スキルアップセミナー」開催のお知らせ (再掲)**

弘前大学保健学研究科の特定プロジェクト教育研究センター「看護職者の教育力開発支援センター・現職者支援部門」では、定期的に患者指導スキルアップセミナーを開催してきました。

今回は、メインテーマ「患者指導スキル向上のためのインタープロフェッショナルワーク」と題して、患者のためのチーム医療をめざして、10月、11月、12月と3回にわたり、各職種の立場から患者(利用者)指導に関わる実践報告を行っていただき、社会資源を活用した効果的な患者(利用者)指導、院内外における患者(利用者)指導システムの構築に向けた学びの機会とします。10月は理学療法士の立場から利用者指導に係わる実践報告をしていただく予定です。各回とも当センター研究・開発部門のこれまでの研究成果発表も行います。

1. 日 時：2011年10月28日（金） 18:00～19:30
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科大会議室（2F）
3. 講 師：医療法人ときわ会病院リハビリテーション科
理学療法士 對馬 新吾 氏
4. 参加費：無 料
5. 申 込：事前申し込みが必要です（締切：10月14日）。
下記問い合わせ先迄、お申込みください。

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 會津 桂子
FAX：0172-39-5940
E-mail：aizu@cc.hirosaki-u.ac.jp

セミナー
患者指導スキル向上のための
インタープロフェッショナルワーク

開催趣旨
効果的な患者（利用者）指導には、メディカルスタッフが連携したチーム医療が必須です。本セミナーの目的は、各職種立場から患者（利用者）指導に関わる実践報告を行っている。社会実装を活用した効果的な患者指導システムの構築に向けた学びの機会をとおすことです。
また、各回とも、本センター・研究・開発部門のこれまでの研究成果発表を行います。

1 利用者指導スキル向上のためのインタープロフェッショナルワーク -理学療法士の立場から-
日時：平成23年10月28日（金） 18:00～19:30
場所：弘前大学大学院保健学研究科 大会議室（2F）
講師：医療法人ときわ会 とくわ会病院リハビリテーション科 理学療法士 對馬新吾氏

2 歯科衛生士による患者指導
日時：平成23年11月18日（金） 18:00～19:30
場所：弘前大学大学院保健学研究科内
講師：弘前大学歯学部附属病院 歯科口腔科 歯科衛生士 佐々木千穂氏
歯科衛生士 遠藤昌彦氏

3 医師による患者指導
日時：平成23年12月9日（金） 18:00～19:30
場所：弘前大学大学院保健学研究科内
講師：弘前大学歯学部附属病院 内分科・代謝・感染症内科外来 医師 津沢

お問い合わせ
〒030-0192 弘前市青森町1-1
弘前大学 保健学研究科 会津 桂子
TEL: 0172-39-5941 E-mail: aizu@cc.hirosaki-u.ac.jp
学生一参加申し込み: 弘前大学大学院保健学研究科
保健学支援部門 登録番号 FAX: 0172-39-5940
E-mail: hiro@cc.hirosaki-u.ac.jp
※各回とも、開催直前までにお申し込みください。

本会：保健学研究科 保健学支援センター 保健学支援部門
主催：保健学研究科 保健学支援センター 保健学支援部門 弘前大学大学院保健学研究科
学内発行部局 印刷部

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

「基礎物理学実験の手引き」（第6版 改訂版 第1刷）
「地域の環境と生活の実験演習」（第3版 第1刷）を刊行しました。



詳細は、下記URLをご参照ください。

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/hupress/>

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電 話：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

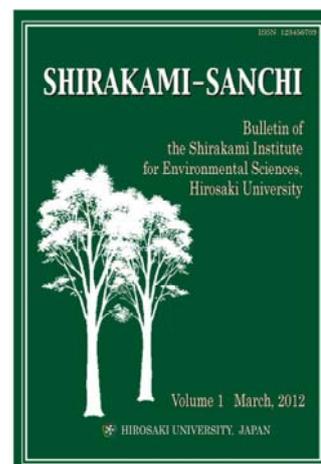
http://www.janu.jp/active/7janu_quarterly_report.html

弘前大学白神自然環境研究所からのお知らせ

研究紀要“SHIRAKAMI-SANCHI”への掲載論文の募集のお知らせ

弘前大学白神自然環境研究所では、白神山地に関する学術的研究を推進するため、本年度より研究紀要“SHIRAKAMI-SANCHI”（英文）を刊行いたします。白神山地とそれに関連する研究論文等を下記要領で学内より募集いたします。

1. 内 容：白神山地とそれに関連する全ての分野の研究論文、報告、総説など。
2. 使用言語：英 語
3. 締め切り：毎年10月31日
4. 投稿規定は白神自然環境研究所のホームページ (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/>)で見ることができます。



問い合わせ先： 弘前大学白神自然環境研究所 中村 剛之
電 話・FAX：0172-39-3707
E-mail：dhalma@cc.hirosaki-u.ac.jp

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax:37-6594、内線：3012